

小学生用Ⅰ（きょうは税金について考えてみよう！） ～Syllabus～

1. 授業の概要

税の意義を学習し、グループワークで税の公平な負担について考えさせることを通じ、税を通して社会に能動的に関わることを体験させる。

2. 到達目標

- 税金はどのような役割を果たしているのか理解させる。
- ワークを通して、税の公平な負担について考察させる。
- 税の負担方法と税の使途はどのように決められるのかを理解させる。それらを決めることは、すなわちどのような社会にするのかを決めることであり、それを国民である自分自身が決めるということを理解させる。

3. 構 想

段 階	学習範囲	学習内容
導入	税制度の基本 税の役割	<ul style="list-style-type: none">• 申告納税制度について触れる。• 身近な消費税を始めとして、主な税金を紹介し、多種の税金により税を負担する力を多方面からとらえていることを説明する。• 身近な公共物、公立学校の教育費には税金が使われていることを紹介し、税金が私たちの安全・安心な暮らしに、なくてはならないものであることを説明する。
展開	公平な負担	<ul style="list-style-type: none">• ワークにより公平に負担するということを体験、考察させる。
まとめ	国民としての自覚	<ul style="list-style-type: none">• 国民主権の意味を理解し、社会の一員として、税の公平な負担と税の使途について考えていかなくてはならないことを理解させる。

4. 展開（タイムスケジュール）

項目	内容	時間
<p><挨拶・自己紹介> 今日の学習内容</p> <p>税理士のお仕事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを説明する。 ・自己紹介、税理士の職業紹介に合わせて、申告納税制度を簡単に説明する。 	5分
<p><税金って必要なの？> 税金にはどんなものがあるのでしょうか？</p> <p>税金の種類</p> <p>税金で作られているものにはどんなものがあるのかな？</p> <p>税金クイズ</p> <p>税金って必要？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生になじみのある消費税から説明する。 ・収入にかかる税金（所得課税）、資産にかかる税金（資産課税）、消費や流通にかかる税金（消費税）、と税を負担する力を多方面からとらえていることを説明する。それが、公平な負担のためであることを説明する。（公平のためというのは「税金を体験して」のところで説明してもよい。） ・身近な公共物、公立学校の教育費には税金が使われていることを説明する。安心・安全な暮らしのために税金が必要であることを理解させる。 ・3択クイズを取り入れ、一方的な授業にならないよう心がける。 ・ここまでの内容を復習する。 	10分
<p><税金を体験しよう> このクラスを国として考えてみましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここで電卓を配布。（最初から配布すると遊んでしまう。） ・時間をかけずに机の配置替えをする。 ・第1問に時間をとられないように。第2問に時間を残すようにする。 ・収入が同じ場合、また収入が異なる場合、どのように税金を出し合うのか、予備知識のない状態で公平ということについて考える体験をさせる。 	20分

<p>税金を体験して</p> <p>お金が足りない場合</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 他の人の立場も考えること（思いやり＝基本的人権の尊重）が必要であることを伝える。実際の税金のしくみでは、どのような公平のためのしくみがあるのか紹介する。 • 時間が足りない場合はグループ発表を止め、挙手による発表に切り替える。 • 財政不足である場合、どうしたらよいのか、予備知識のない状態で考える体験をさせる。 	
<p><税金についてもっと知ろう></p> <p>今の日本はどうなっているのかな？（予算）</p> <p>税金をどれだけ出し合うのかは、だれが決めるの？</p> <p>税金をどう使うのかは、だれが決めるの？</p> <p>憲法について考えてみよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 残り時間を見ながら、途中適宜説明を省略してでも、まとめをしっかり伝えることができるようにする。 • 日本の現状を伝える。 • 憲法 84 条（租税法律主義）について説明し、税を納めるルールは国民が決められていることを理解させる。 • 憲法 83 条（財政民主主義）について説明し、税をどう使うのかも国民が決められていることを理解させる。また自分の意見を持つためには、社会について情報を得て学習することが必要であることを理解させる。 • 憲法の本質と、国民の三大義務について説明する。 	<p>7 分</p>

<p><まとめ></p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> • 国民主権・民主主義・租税法律主義 • 財政民主主義・租税の意義・課税公平原則 • 能動的な社会参加 <p>これらを分かりやすく伝える。</p> • 国民主権の意味を離解し、社会の一員として、税の公平な負担と税の使途について考えていかななくてはならないことを理解させる。 税を児童に身近な「掃除」に例えて、税金の理解につなげる。 • 時間が余った場合に備えて、税金クイズを用意しておく。 	<p>3 分</p>
--------------------	--	----------------